

収集体制見直しの検討経過

1 2023年度の経過と現状

暫定処理方法検討	ビン・カン、容器包装プラスチックについて、市外処理施設への委託を前提とする暫定処理方法案を作成
積算	暫定処理方法案を基に、必要車両台数やCO2排出量を積算
庁内調整	収集後のごみの処理等を管理する部門や、財政部門等との調整
検討事項	①プラスチック分別収集 ②収集方法の変更(戸別収集) ③週の収集日の変更(週5日収集) ④収集頻度の変更



2 調査

検討を進めるにあたり、事業者ヒアリングや他自治体の現場視察調査を実施しました。調査内容をいくつか例示します。

事業者ヒアリング	戸別収集化による作業員の負担程度
	車両等を準備するための期間
	ドライバーの不足状況
他自治体の現場視察	資源物・小型家電を戸別収集している自治体の各戸排出状況
	小型家電を収集する際の工夫

3 課題

検討の中で特に大きな課題として上がったのが以下の2点です。プラスチック分別収集以外の3項目について、引き続き検討を進めます。

- ごみ収集作業員のなり手不足
- 経費の増大